

令和元年度 第2回匝瑳市地域再生協議会 会議録

開催日時	
令和元年11月25日(月) 13:30~14:10	
開催場所	
匝瑳市民ふれあいセンター 1階 第1会議室	
出席者	
会長	宇井和夫
副会長	鎌形廣行
委員	井上峰夫、鈴木弘、大塚榮一、宇井野理男、宇野智弥
代理	高橋昌士(澤田委員代理)
(事務局)	
企画課:大木課長、江波戸主査、木内副主査	
高齢者支援課:林課長、磯部主幹	

※委員については敬称略

会議内容
<p>【次第】</p> <ol style="list-style-type: none">1 開 会2 あいさつ3 議 事 (1) 匝瑳市版生涯活躍のまち形成事業計画(素案)について (2) その他4 閉 会 <p>【議事内容】</p> <p>(1) 匝瑳市版生涯活躍のまち形成事業計画(素案)について 資料に基づき事務局から説明した。 また、計画素案15ページの「匝瑳市在宅ケア会議」を「匝瑳市地域ケア推進会」に、20ページの広域型特別養護老人ホームの施設運営スケジュールを「平成30年度」から「平成31年度」に訂正した。 主な質疑・意見は次のとおり。</p> <p>《会長》 御質問、御意見等ありましたらお願いします。</p> <p>《事務局》 事務局から委員の皆様へ御意見を伺いたい。15ページ「匝瑳市地域ケア推進会」は、医師会や市民病院、九十九里ホームや社会福祉協議会等から構成される会であるが、現在のところ組織の継続・解散について検討中と聞いている。年度内にその方向性を決めるとのことだが、本計画において名称を掲載するか</p>

会議内容

どうかについて御意見を伺いたい。

《副会長》

毎年ふれあいセンターの大ホールで、講演会や寸劇を行っている会か。

《事務局》

そのとおりである。イベント名は在宅ケアフォーラムである。

《委員》

医師会の先生方が熱心に続けてきた会であろうし、会の方向性について今後どうしようかということも聞いてはいるが、解散する方向とは伺っていない。

一生懸命やってきた先生方もいらっしゃるでしょうから、ここで削ってしまうのは少し早いかなという感じがする。

《会長》

委員から取り扱いについて御意見を頂戴した。今年度開催予定の匠瑳市地域ケア推進会において決定される方針に基づいて本計画の表記について対応するものとし、現段階では今回御提示した内容をもって、お願いさせていただきたいと考えているが、いかがか。

《委員の同意あり》

《会長》

よろしいですか。ありがとうございます。他に御意見等ございますか。

《副会長》

8 ページ「2 事業実施地域の全体イメージ」に障害者に関する記載があるが、計画中で障害者の文言はここだけである。福祉の計画や障害者の計画を作る中で、障害者支援の施策は非常に大事だと考えている。

九十九里ホームでも障害者支援施設「聖マーガレットホーム」を運営されており、市の方でも福祉作業所等の施設を紹介しているが、障害者も色々なランクがあり、程度が軽い人や健常者と同じような状態の方もいらっしゃる。

そうした中、福祉作業所では25名くらいの利用者登録があり、毎日15名前後の方がそこで作業をしている。利用者は内職的な小さな作業に従事し、1か月で8,000～9,000円の工賃を手に入れている。工賃を受け取るのを楽しみに働いているが、全国的には13,000～15,000円が平均的な工賃である。

事業の中で様々な施設を作り、運営していく中で、障害者の方も一緒に参加できるように御配慮をお願いしたい。障害者の方も、入所している高齢者の方や、こども園の子どもたちと触れ合うことによって、状態が変わっていくこともある。そうした点についても御配慮いただければと思う。計画内容に入れてほしいということではないが、よろしくをお願いしたい。

《事務局》

障害者の方も一緒に参加できる内容に関して、地域交流拠点施設の中に共生型福祉作業所を開設予定である。

会 議 内 容

《会長》

他に御意見等ございますか。

《委員》

私は素案としてはこれで良いのではないかと思う。計画はこの内容で決めていただき、進めていく中でお気づきの点があれば、運用の中で対応していきたいと考えている。

《会長》

委員から、計画については、今回お示しした素案の内容でよろしいのではないかという御意見を頂戴した。

前回、第1回の会議の中で策定スケジュールをお示ししている。今回の第2回会議は本来10月下旬に開催予定のところ、諸事情で時期がずれてしまい申し訳なかったが、本日は前回の検討結果を踏まえた素案を皆様にお示し、御検討いただいたところである。

ただ今、委員からも御意見があったように、差し支えが無ければ、若干の調整事項や数字的なものの確認と調整を行った上で、後日皆様に案という形でお示しし御確認いただいた上で、特に御意見等が無ければ、改めてお集まりの場ということではなく、会として御了解を頂いたということで取り計らいたいと考える。いかがか。

《委員の同意あり》

《会長》

ありがとうございます。今後は事務局で、計画中に使っている数値、統計データ、様々な表現等含め、再度精査・チェックを行い、改めて案という形で後日委員の皆様の御確認を頂き、御意見を頂き、概ね御了解を頂けるようであれば、改めて会議の場でということではなく、それをもって会の了承ということに代えさせて頂きたい。

確認事項を含めそうした微調整は、事務局を中心に、関係課とも内容確認・精査した上で、取りまとめを後日案という形で御提示したい。

(2) その他

《会長》

委員の皆様から何かございますか。

《委員》

お配りいただいた資料のとおり、来月の14日に講演会を開催する。テーマは「地域包括ケアシステムから持続可能な地域共生社会へ」である。是非御参加いただきたい。

また、事業の中で今年度雇用した移住コーディネーターが、事業PR用に「NEWS LETTER」を作成し、配布している。飯倉駅前まちづくりの考え方や、各施設の状況、様々な取組について紹介している。是非御覧いただき、お気づ

会 議 内 容

きの点があればお寄せいただきたい。

《会長》

他にございますか。事務局から何かありますか。

《事務局》

市では、情報提供の一環として、審議会等の議事録を市ホームページで公開しています。つきましては、本日の会議の議事録等についても、後日委員の皆様へ送付するとともに、市ホームページで発言者氏名を「委員」として内容を公開する予定ですので、よろしくお願いいたします。

以 上